

いのちに向き合う宗教者の会

第14回 「いのちの日 いのちの時間」 自死者追悼法要 2022（令和4）年11月30日（水）超宗派の有志僧侶らで厳修！

今年も「いのちの日 いのちの時間 - 自死者追悼法要 -」を厳修いたしました。

自死・自殺によって亡くなられた方々を偲びつつ、すべての人びとが安穏なることを願い、東海近県の禅宗・浄土真宗・真言宗などの僧侶29名が集まり厳修いたしました。

昨年、一昨年は、新型コロナウイルスの感染状況に鑑みご遺族の参詣はご遠慮いただいておりましたが、今年は、お申込みいただいた29名の皆様とともに法要を勤めさせていただきました。

今回で14回目となる法要では、
当会代表の根本紹徹の挨拶、続いて
坐禅を行い法要に向けて心と身体を
整え、ご詠歌の調べとともに華を散
らしながら僧侶・導師が入堂。

その後、導師が阿弥陀如来の御尊前
に進み、法要の趣旨（表白）と仏さま
になられた故人33名のお名前を奉告し、
各宗派のお経が読まれ、今を生きるす
べての人びとの安寧を願いました。

法要後、参拝された皆様に少人数のグループに分かれていただき、僧侶スタッフの進行による「わかちあい」が行われ、最後に「亡き方に宛てたメッセージと写経」を真言宗僧侶がお焚き上げをして、すべての日程が終了しました。



皆様からお預かりした「写経とメッセージ」を、ご本尊阿弥陀如来のご尊前に供え、故人のお名前を奉告させていただきました。



亡き方へ今の気持ちを綴ったメッセージをお焚き上げしました。



多数のメッセージ・写経に加え、ご懇志もお運びいただきありがとうございました。
これから本格的な寒さが訪れます。何卒、みなさま御自愛くださるようお願いいたします。

第14回法要スタッフ一同



真宗大谷派名古屋別院対面所にて